



ミュージアムコレクション |
Museum Collection |

India in Setagaya

世田谷で インド



「インド」彫刻家 斎藤 隆 作品



世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM
〒157-0075 東京都世田谷区宮内3-1-2 TEL: 03-3415-6011 (7ヶ線)
<https://www.setagayaartmuseum.jp/>

2025

SATURDAY

4

19

SUNDAY

7

13

会場：世田谷美術館2階展示室

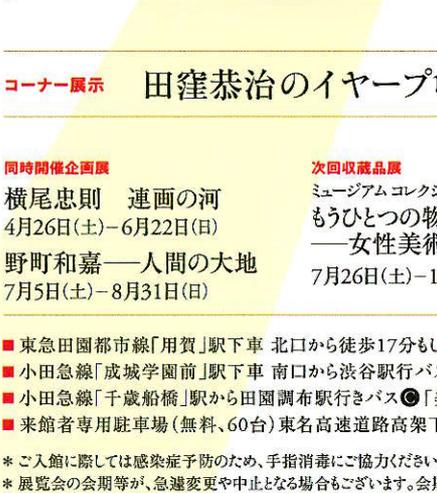
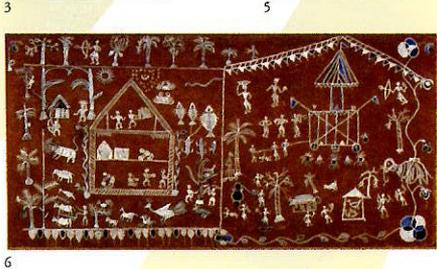
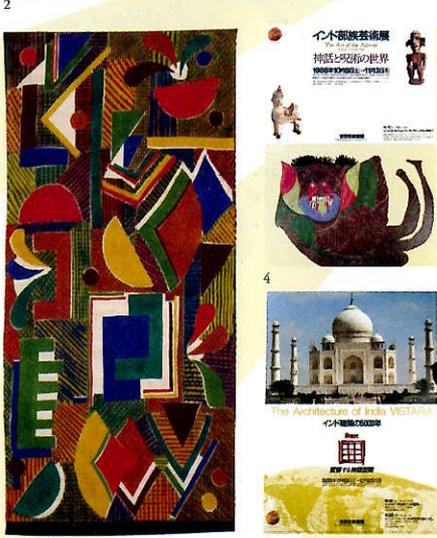
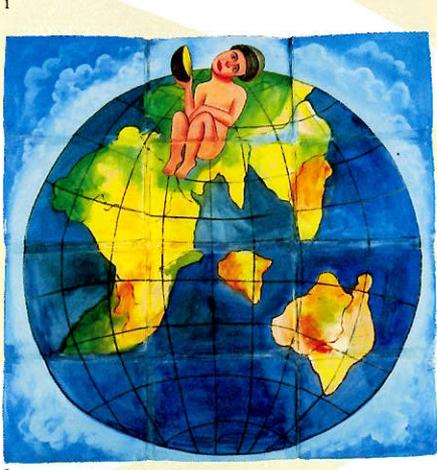
主催：世田谷美術館（公益財団法人せたがや文化財団）

開館時間：10時～18時（入場は17時30分まで）

休館日：毎週月曜日 * 4月28日（月）、5月5日（月）は開館、5月7日（水）は休館

観覧料：一般200（160）円、大高生150（120）円、65歳以上／中小生100（80）円

* 障害者の方は100円（80円）ただし、小中・高大学生の障害者は無料。介助者（当該障害者1名につき1名）は無料。証明書を提示のうえ、お申し出ください。*（）内は20名以上の団体料金。* 世田谷区内在住・在学の小中学生は土、日、祝・休日は無料。* 同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。



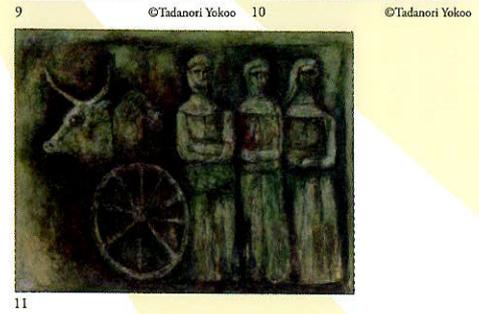
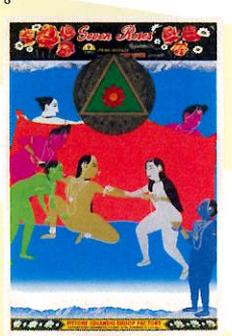
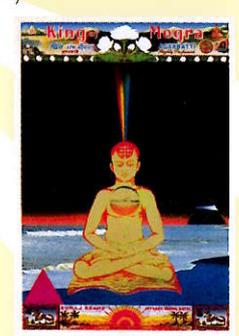
世田谷にはカレーの名店が多いと、巷で話題な
 のをご存知でしょうか？世田谷美術館の最寄り
 駅、用賀には鎌倉時代にヨガ教室があったとか！
 ここ世田谷美術館にも、なぜかインドにまつわる
 作品がこんなにたくさんありました！！

インドの美術や音楽、文化、思想、とくにその
 精神世界は美術家たちの創造力を刺激しまし
 た。インド体験が創作のインスピレーションとな
 った横尾忠則や池田良二の版画、イタリア出身で、
 ニューヨークやインドにも拠点を置きながら異なる
 文化圏を移動して制作してきたフランチェスコ・ク
 レメンテの絵画、黒柳徹子ユニセフ親善大使と
 インドを訪れ、現地の子どもを写した田沼武能の
 写真や、インド舞踊団を撮影した松本徳彦の写
 真、インドの叙事詩『ラーマヤナ』の翻訳本に駒
 井哲郎が寄せた挿絵版画、そのほかインド綿を
 使った大澤美樹子の染色作品などもあります。

インドは仏教発祥の地。中国では天竺と呼ば
 れ、三蔵法師は天竺を目指して仏教を学びに出か
 けます。榎本了全の描く、濫澤龍彦の小説『高丘
 親王航海記』の主人公も、遠い天竺を目指して
 日本を出発し、中国を経て東南アジアの海を
 旅しました。

世田谷美術館では、1988年、日本でおこな
 われた「インド祭」にあわせて「インド部族芸術展—
 神話と呪術の世界」、「インド建築の5000年—
 変容する神話空間」を開催しました。このとき
 一部美術館に残された、インド先住民族の作品
 も今回初公開いたします。

作家たちとインドとのさまざまなかわり、作品
 それぞれが紡ぐインドの物語を、さうぞお楽し
 みください。



- 表(上下) 1
 榎本了全『高丘親王航海記』(部分) 2015-16年
 2 フランチェスコ・クレメンテ『二つの大地』1981年
 3 大澤美樹子『平面と交差』1996年
 4 「インド部族芸術展」ポスター
 5 「インド建築の5000年」展 ポスター
 6 サオラ部族の絵画 「インド部族芸術展」出品作品
 7 田沼武能『ラモテさんの一家(インド・マドラス郊外)』1986年
 8 池田良二『Scattered Seeds/散種』1979年
 9 横尾忠則『聖シャンバラ 火其地』1974年
 10 横尾忠則『聖シャンバラ 風其天人地』1974年
 11 須田寿『家族 インド』1995年

コーナー展示 田窪恭治のイヤープレート 2009-2018

同時開催企画展
 横尾忠則 連画の河
 4月26日(土) - 6月22日(日)
 野町和嘉 人間の大地
 7月5日(土) - 8月31日(日)

次回収蔵品展
 ミュージアムコレクションⅡ
 もうひとつの物語
 —女性美術家たちの100年
 7月26日(土) - 11月3日(月・祝)

世田谷美術館
 SETAGAYA ART MUSEUM
 〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2
 TEL: 03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

- 東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分もしくは、美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行きバスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(無料、60台) 東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

* ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。
 * 展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。会期中の最新情報は、美術館ウェブサイト等でお知らせします。

